

科目No. SⅡ 1 科目名(单元名) 成人看護学総論		配当時期 1年後期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 30時間		担当者 若佐 昌子	
テーマと授業目標 1.特徴、生活、健康、環境から多角的に成人を理解する 2.生活、健康に対する動向を知り、成人の健康を多角的にとらえ、基本知識とする 3.精神状態、健康問題に対応するための看護アプローチの基本的な考え方、方法を理解する					
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)		授業方法
1	2	若佐	成人とは 対象理解・生活		講義 グループワーク
2	2	若佐	成人を取り巻く動向		講義 グループワーク
3	2	若佐	成人への看護アプローチの基本		講義 グループワーク
4	2	若佐	ヘルスプロモーション 健康を脅かす要因		講義 グループワーク
5	2	若佐	健康をおびやかす要因 健康の急激な破綻		講義 グループワーク
6	2	若佐	急性期医療 慢性期医療		講義 グループワーク
7	2	若佐	慢性期医療 リハビリテーション		講義 グループワーク
8	2	若佐	人生の最期の時を支える看護 全人的苦痛(トータルペイン)とは		講義 グループワーク
9	2	若佐	1) エンパワメントーエデュケーション 2) セルフマネジメントを推進する看護技術		講義 グループワーク
10	2	若佐	治療過程にある患者への看護技術 1) 治療による身体侵襲から回復促進のための看護技術		講義 グループワーク
11	2	若佐	治療過程にある患者への看護技術 2) 安全を援助する看護技術 3) 社会復帰にむけた看護技術		講義 グループワーク
12	2	若佐	4) ボディイメージ変化に対する看護技術		講義 グループワーク
13	2	若佐	5) 日常生活再構築のための看護技術		講義 グループワーク
14	2	若佐	移行支援とは		講義 グループワーク
15	2	若佐	移植・再生医療		講義 グループワーク
評価方法		終講試験+事前学習提出+授業に取り組む姿勢			
科目アピールポイント		成人各期の特徴や健康問題、健康を維持するために必要な基礎知識と成人期の人への関わる技術を、豊富な臨床経験からより具体的に解りやすく学ぶことができる。			
使用図書(テキスト) 図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学総論 成人看護学①			出版元 医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名: 国民衛生の動向 2020・2021			出版元 一般財団法人 厚生労働統計協会		
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ()					

科目No.		SⅡ 2		科目名(单元名)		成人臨床看護論Ⅰ		内分泌・代謝疾患		患者の看護		配当時期		2 年前期		単位数		1 単位 (30時間)		時間数		14時間		担当者		中村 由希			
テーマと授業目標																													
内分泌・代謝疾患患者の持つ身体的特徴・心理・社会的特徴を知り、具体的な援助方法や看護展開について学ぶ																													
授業回数		時間		講師		授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)																授業方法							
1		2		中村		内分泌・代謝疾患患者の特徴と看護の役割について																講義							
2		2		中村		内分泌・代謝器官の構造と機能について																講義							
3		2		中村		内分泌疾患の理解と患者の看護 視床下部一下垂体疾患																講義							
4		2		中村		内分泌疾患の理解と患者の看護 甲状腺疾患																講義							
5		2		中村		代謝疾患の理解と患者の看護 糖尿病と看護																講義							
6		2		中村		糖尿病・脂質異常症の患者の看護																講義							
7		1		中村		事例による看護過程の展開 国家試験対策																講義							
8																													
9																													
10																													
11																													
12																													
13																													
14																													
15																													
評価方法				終講試験																									
科目アピールポイント				成人期にある人の内分泌・代謝機能に障害のある人の特徴や健康問題、健康を維持するために必要な基礎知識と看護を展開する技術を、豊富な臨床経験から、より具体的に解りやすく学ぶことができる。																									
使用図書 (テキスト)																												出版元	
図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅱ																										医学書院			
成人看護学⑥ 内分泌・代謝																													
図書名																													
使用予定の視聴覚機器																													
(パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ																													
その他 (DVD)																													

科目No.		SⅡ 2 科目名(单元名) 成人臨床看護論Ⅰ 血液・造血器 膠原病・アレルギー		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 16時間	担当者 湯浅 一二美
テーマと授業目標 血液・造血器疾患患者の特徴と治療を理解し、地領管理を含む長期的な治療への専門的支援がわかる					
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)		授業方法
1	2	湯浅	血液・造血器疾患を持つ患者の特徴		講義
2	2	湯浅	主要症状を有する患者の看護 (貧血 出血傾向 易感染)		講義
3	2	湯浅	造血器腫瘍患者の意思決定支援 がん薬物療法と看護		講義
4	2	湯浅	白血病患者の看護		講義
5	2	湯浅	白血病患者の看護 造血幹細胞移植を受ける患者の看護		講義
6	2	湯浅	造血幹細胞移植を受ける患者の看護		講義
7	2	湯浅	悪性リンパ腫の患者の看護 (事例検討)		講義
8	2	湯浅	アレルギー・膠原病患者の看護		講義
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法		終講試験			
科目アピールポイント		成人期にある人の血液・膠原病・生体防御機能に障害のある人の特徴や健康問題、健康を維持するために必要な基礎知識と看護を展開する技術を、豊富な臨床経験からより具体的に解りやすく学ぶことができる。			
使用図書 (テキスト) 図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学④ 成人看護学⑪			出版元 医学書院		
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名			出版元		
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ()					

科目No.		SⅡ 3 科目名(单元名) 成人臨床看護論Ⅱ 呼吸器疾患のある 患者の看護		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 14時間	担当者 寺下 知子
テーマと授業目標 1.呼吸器疾患の医療動向と看護が理解できる 2.症状に対する看護が理解できる 3.検査・治療を受ける患者の看護が理解できる 4.呼吸器治療の看護過程を展開することが出来る					
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)		授業方法
1	2	寺下	医療動向と看護 呼吸器疾患の患者の特徴と看護の役割		講義
2	2	寺下	呼吸器の解剖生理 フィジカルアセスメント		講義
3	2	寺下	フィジカルアセスメント 疾患を持つ患者の経過と看護		講義
4	2	寺下	症状に対する看護		講義
5	2	寺下	検査・治療・処置を受ける患者の看護		講義
6	2	寺下	疾患を持つ患者の看護		講義
7	2	寺下	COPDの患者の看護過程		講義
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法			終講試験 出席状況 提出物		
科目アピールポイント			成人期にある人の呼吸機能に障害のある人の特徴や健康問題、健康を維持するために必要な基礎知識と看護を展開する技術を、豊富な臨床経験からより分かりやすく学ぶことができる。		
使用図書 (テキスト) 図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 呼吸器 成人看護学② 図書名			出版元 医学書院		
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド・CD ・カセットテープ その他 (フィジカルアセスメントの授業時は聴診器を使用)					

科目No.	配当時期 2 年前期		担当者	
科目名(単元名)	単位数 1 単位 (30時間)	時間数 16時間	若佐 昌子	
テーマと授業目標				
1)循環器疾患を持つ対象の経過別看護を理解できる				
2)循環器疾患を持つ対象の症状に対する看護が理解できる				
3)検査・治療を受ける循環器疾患を持つ対象への看護が理解できる				
4)循環器疾患を持つ対象の看護過程を展開することが出来る				
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	若佐	循環器疾患患者の経過別看護 (急性期・回復期・慢性期・終末期)	講義
2	2	若佐	循環器疾患を持つ対象の症状に対する看護 (胸痛・動機・失神)	講義
3	2	若佐	検査・治療を受ける循環器疾患を持つ対象への看護 (心臓カテーテル検査・心電図検査・薬物療法)	講義
4	2	若佐	循環器疾患を持つ対象の症状に対する看護 (浮腫・四肢の痛み)	講義
5	2	若佐	循環器疾患を持つ対象の症状に対する看護 (呼吸困難・チアノーゼ)	講義
6	2	若佐	循環器疾患を持つ対象の症状に対する看護 (心不全)	講義
7	2	若佐	循環器疾患を持つ対象の看護過程の展開 (心筋梗塞後、心不全患者の看護過程) グループワーク	講義 グループワーク
8	2	若佐	グループ発表	講義 グループワーク
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		終講試験＋事前学習提出【53点】		
科目アピールポイント		成人期にある人の循環機能に障害のある人の特徴や健康問題、健康を維持するために必要な基礎知識と看護を展開する技術を、豊富な臨床経験と教育の現場からより具体的に解りやすく学ぶことができる。		
使用図書 (テキスト)		出版元		
図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅱ		医学書院		
循環器 成人看護学③				
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・(スライド) ・CD ・カセットテープ				
その他 ()				

科目No.		SⅡ 4 科目名(单元名) 成人臨床看護論Ⅲ 消化器(内科系)疾患患者の看護		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 15時間	担当者 浅江 由美子
テーマと授業目標 1)消化器疾患患者の経過の特徴看護について理解できる 2)消化器疾患患者に多く見られる症状の病態生理を踏まえ、症状に対する看護を理解できる 3)消化器疾患をもつ館jyの看護について理解できる 4)消化器疾患を持つ患者の看護過程を展開できる					
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)		授業方法
1	2	浅江	消化器疾患の特徴 消化器疾患経過別看護 消化器疾患症状に対する看護		講義
2	2	浅江	消化器症状を持つ患者の看護		講義
3	2	浅江	検査を受ける患者の看護		講義
4	2	浅江	消化器疾患の経過と看護 食道疾患 胃・十二指腸疾患		講義
5	2	浅江	消化器疾患の経過と看護 大腸・肝疾患		講義
6	2	浅江	消化器疾患の経過と看護 胆のう・膵臓		講義
7	2	浅江	膵臓疾患の経過と看護 看護過程 「胃潰瘍」		講義 グループワーク
8	1	浅江	看護過程発表		講義 グループワーク
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法		終講試験			
科目アピールポイント		成人期にある人の消化吸収・排泄機能に障害のある人の特徴や健康問題、健康を維持するために必要な基礎知識と看護を展開する技術を、豊富な臨床経験から、より具体的に解りやすく学ぶことができる。			
使用図書(テキスト) 図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 消化器 出版元 医学書院 図書名					
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ()					



科目No. SⅡ 4 科目名(单元名) 成人臨床看護論Ⅲ 外科看護の基礎 消化器疾患で 外科的治療を受ける患者の看護		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 15時間		担当者 北浦 明子	
テーマと授業目標 周手術期にある患者を身体・心理・社会的側面から全人的にとらえ 患者のニーズに沿った看護を理解できる					
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)		授業方法
1	2	北浦	手術侵襲と生体反応		講義
2	2	北浦	創傷治癒 褥瘡		講義
3	2	北浦	術前アセスメント 術前検査 手術当日・前日の看護について		講義
4	2	北浦	消化器・腹部疾患患者の看護		講義
5	2	北浦	胃癌		講義
6	2	北浦	胃癌 (手術) 術後合併症 胃癌の看護		講義 グループワーク
7	2	北浦	ストーマケア		講義 グループワーク
8	1	北浦	看護過程発表		講義 グループワーク
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法		出席状況 終講試験 課題・グループワークとその後の発表内容			
科目アピールポイント		成人期にある人の消化吸收・排泄機能に障害のある人の外科的治療の特徴や健康問題、健康を維持するために必要な基礎知識と看護を展開する技術の実践を、豊富な臨床経験から、より具体的に解りやすく学ぶことができる。			
使用図書 (テキスト)			出版元		
図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 消化器 別巻 臨床外科看護各論					
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書)			出版元		
図書名					
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ()					

科目No.		SⅡ 5		科目名(单元名)		成人臨床看護論Ⅳ		脳神経疾患患者の看護		配当時期		2 年前期		単位数		1 単位 (30時間)		時間数		16時間		担当者		宮本 麻侑子	
テーマと授業目標																									
脳神経外科看護について理解できる																									
授業回数		時間		講師		授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)															授業方法				
1		2		宮本		医療の動向と看護															講義				
2		2		宮本		症状とその病態生理															講義				
3		2		宮本		検査・診断と治療処置															講義				
4		2		宮本		疾患の理解															講義				
5		2		宮本		患者の看護 A～B															講義				
6		2		宮本		患者の看護 C～D															講義				
7		2		宮本		患者の看護 C～D															講義				
8		2		宮本		患者体験 ～高齢者・片麻痺体験～															講義 演習				
9																									
10																									
11																									
12																									
13																									
14																									
15																									
評価方法				出席日数 終講試験																					
科目アピールポイント				成人期にある人の脳神経機能に障害のある人の特徴や健康問題、健康を維持するために必要な基礎知識と看護を展開する技術を、豊富な臨床経験から、より具体的にわかりやすく学ぶことができる。																					
使用図書 (テキスト)																									
図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅱ																									
脳神経																									
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書)																									
図書名																									
出版元																									
出版元																									
使用予定の視聴覚機器																									
(パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ																									
その他 ()																									

科目No. SⅡ5 科目名(单元名) 成人臨床看護論Ⅳ 運動器疾患のある 患者の看護		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 14時間		担当者 中村 麻弥	
テーマと授業目標 1.運動器の働きを知り、運動器に障害を持つ患者の特徴を理解する。 2.運動器に障害を持つ患者に対する看護の役割を理解し、援助に必要な知識と技術をまなぶ					
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)		授業方法
1	2	中村	医療の動向と看護 (人口推計と高齢化社会における問題・運動器疾患患者の看護における課題)		講義
2	2	中村	診断・検査と治療・処置 保存療法を受ける患者の看護		講義
3	2	中村	運動器疾患の看護 手術経過に応じた患者の看護		講義
4	2	中村	運動器疾患の看護 疾患を持つ患者の看護”		講義
5	2	中村	運動器疾患の看護 保存療法 患者の看護 松葉杖実習 せん妄		講義 演習
6	2	中村	手術を受ける患者の看護 疾患を持つ患者の経過と看護		講義
7	2	中村	大腿骨頸部骨折による人工骨頭 置換術後の患者の看護・事例展開		講義
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法		終講試験			
科目アピールポイント		成人期にある人の身体運動機能に障害のある人の特徴や健康問題、健康を維持するために必要な基礎知識と看護を展開する技術を、豊富な臨床経験から、より具体的に学ぶことができる。臨床経験と教育の経験から実践的な指導を受け、学ぶことができる。			
使用図書 (テキスト) 図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 運動器 成人看護学⑩			出版元 医学書院		
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名			出版元		
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 (演習では松葉杖、車いすなどを使用する)					

科目No.		SⅡ 6 科目名(単元名) 成人臨床看護論Ⅴ 腎・泌尿器疾患患者の 看護		配当時期 2年後期 単位数 1単位(30時間) 時間数 14時間	担当者 宮崎 絵美
テーマと授業目標 ・腎・泌尿器疾患患者の特徴が理解できる ・内科的治療と外科的治療の看護が理解できる					
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)		授業方法
1	2	宮崎	医療の動向と看護		講義
2	2	宮崎	疾患の経過と看護(急性期)		講義
3	2	宮崎	急性期患者の看護(下部尿路症状、検査)		講義
4	2	宮崎	内科的治療を受ける患者の看護(急性期・慢性腎不全)		講義
5	2	宮崎	内科的治療を受ける患者の看護(血液透析・腹膜透析)		講義
6	2	宮崎	症例検討・発表		講義・演習
7	2	宮崎	症例検討・発表		講義・演習
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法		出席状況 終講試験			
科目アピールポイント		成人期にある人の腎・泌尿器の機能に障害のある人の特徴や健康問題、健康を維持するために必要な基礎知識と看護を展開する技術を、豊富な臨床経験から、より具体的に学ぶことができる。			
使用図書(テキスト) 図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 腎・泌尿器 成人看護学⑧			出版元 医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名			出版元		
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・(スライド) ・CD ・カセットテープ その他()					

科目No. SⅡ6 科目名(单元名) 成人臨床看護論Ⅴ 女性生殖器		配当時期 2年後期 単位数 1単位(30時間) 時間数 8時間		担当者 俵内 晃子	
テーマと授業目標 ・近年、女性を取り巻く現状を知り、身体的問題、心理・社会的問題、家族の援助における看護の役割が理解できる ・女性生殖器に起こる疾患・症状それに対する看護について、理解できる					
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)		授業方法
1	2	俵内	女性生殖器疾患患者の理解 ・患者の特徴・症状とその病態生理・診察・検査・治療		講義
2	2	俵内	女性生殖器疾患の理解と看護① 子宮疾患・周手術期の看護		講義
3	2	俵内	女性生殖器疾患の理解と看護② 子宮・卵巣疾患、化学療法、月 経困難、更年期障害、不妊症、性感染症		講義
4	2	俵内	乳房疾患の理解 診察・検査・治療		講義
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法		終講試験			
科目アピールポイント		成人期にある人の生殖機能及び性機能に障害のある人の特徴や健康問題、健康を維持するために必要な基礎知識と看護を展開する技術を、臨床経験と教育の経験から具体的に学ぶことができる。			
使用図書(テキスト) 図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 女性生殖器 成人看護学⑨			出版元 医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名			出版元		
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他(DVD)					

科目No.		SⅡ 6 科目名(单元名) 成人臨床看護論Ⅴ 感覚器疾患 患者の看護		配当時期 2年後期 単位数 1単位(30時間) 時間数 8時間	担当者 鳥羽 義之
テーマと授業目標 1.感覚器疾患による障害を理解する 2.感覚器の障害がある患者への必要な援助を理解する 3.他の疾患との関連性を理解し、身体的・精神的・社会的に多方面に必要な援助を理解する					
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)		授業方法
1	2	鳥羽	目の看護を学ぶにあたって 眼科疾患患者の看護		講義
2	2	鳥羽	歯・口腔の感がを学ぶにあたって 口腔症状のある患者の看護 口腔ケア		講義
3	2	鳥羽	皮膚の看護を学ぶにあたって 皮膚疾患患者の看護 スキンケア		講義
4	2	鳥羽	耳鼻咽喉の看護を学ぶにあたって 耳鼻咽喉領域の患者の看護 摂食嚥下障害患者の看護		講義
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法		終講試験			
科目アピールポイント		成人期にある人の感覚機能に障害のある人の特徴や健康問題、健康を維持するために必要な基礎知識と看護を展開する技術の実践を、臨床経験と教育の経験からより分かりやすく学ぶことができる。			
使用図書(テキスト) 図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 ⑫皮膚 ⑬眼 ⑭耳鼻咽喉 ⑮歯・口腔			出版元 医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名			出版元		
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他()					

科目No. SⅡ 7 科目名(単元名) 成人看護特論		配当時期 2年後期 単位数 1単位 時間数 30時間	担当者 藤原 綾子	
テーマと授業目標 既習の学習内容を統合し、成人期にある人々を全人的にとらえるために必要な情報収集の視点、アセスメントの進め方を理解する 内容:全身麻酔の手術を受ける成人患者のペーパーシュミレーションを用いた看護過程				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	藤原	ガイダンス	講義 グループワーク
2	2	藤原	事例で看護過程の展開の特徴を理解する	講義
3	2	藤原	手術侵襲と生体反応	講義
4	2	藤原	麻酔による合併症、共同問題(CP)	講義
5	2	藤原	疾患から考えられる合併症(術前・術後)	講義
6	2	藤原	計画(術前・術直後・術後1日目・・・)	
7	2	藤原	計画(術前・術直後・術後1日目・・・)	
8	2	藤原	計画(術前・術直後・術後1日目・・・)	
9	2	藤原	ゴードン11パターンの情報振り分け	
10	2	藤原	看護問題(ND)の分析	
11	2	藤原	看護問題(ND)の目標と計画	
12	2	藤原	評価について	
13	2	藤原	終講テスト	
14	2	藤原	まとめ	
15	2	藤原	まとめ	
評価方法		記録および終講試験		
科目アピールポイント		成人期で学んだ学習内容を統合し、成人期にある人々を全人的にとらえるために必要な情報収集の視点、アセスメントの進め方についての看護を展開する技術の実践を、臨床経験と教育の経験を活かし、より分かりやすく学ぶことができる。		
使用図書(テキスト) 参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名 ・カルペニート看護診断マニュアル、医学書院 ・看護診断ハンドブック、医学書院 ・アセスメント覚え書 ゴードン機能的健康パターンと看護診断 ・臨床外科看護総論、医学書院 ・臨床外科看護各論、医学書院				
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他(DVD)				

科目No.		配当時期		担当者	
S II 8		1 年後期			
科目名(单元名)		単位数		俵内 晃子	
老年看護学総論		1 単位			
		時間数			
		30時間			
テーマと授業目標					
1.加齢に伴う高齢者の生活と健康状態の変化について理解する					
2. さまざまな健康状態にある高齢者と家族の生活及び健康を支える看護について理解する					
3.高齢者を取り巻く社会制度および保健・医療・福祉の動向と諸問題を学び看護の役割を理解する					
4.多様な生活の場で、高齢者の健康を支える看護について理解する					
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）		授業方法
1	2	俵内	高齢者の理解 ・ 高齢者とは・ 高齢者の特徴と理解		講義
2	2	俵内	高齢者の理解 ・ 生活歴についてのグループワーク ・ 高齢者にとっての健康		講義 グループワーク
3	2	俵内	高齢者の健康状態のアセスメント 高齢者にとってのQOL		講義
4	2	俵内	高齢者の加齢に伴う変化		講義
5	2	俵内	高齢者を取り巻く社会 ・ 高齢者の生活と家族		講義
6	2	俵内	高齢者を取り巻く社会 ・ 高齢者を支える制度		講義
7	2	俵内	介護保険制度		講義
8	2	俵内	介護保険サービス内容について		講義
9	2	俵内	長期療養施設 在宅サービス及び看護		講義
10	2	俵内	高齢者看護の特性 高齢者看護の倫理		講義
11	2	俵内	高齢者のアセスメントの特徴		講義
12	2	俵内	高齢者のバイタルサイン特性		講義
13	2	俵内	高齢者によくみられる疾患 高齢者の健康づくり		講義
14	2	俵内	高齢者の生活を支える看護		講義
15	2	俵内	高齢者理解のための実習		講義・演習
評価方法			終講試験		
科目アピールポイント			高齢者の特徴や健康問題、健康を維持するために必要な基礎知識と老年期の人への関わる技術の実践を、臨床経験と教育の経験から、より分かりやすく学ぶことができる。		
使用図書（テキスト）			出版元		
図書名：ナーシンググラフィカ 老年看護学①			メディカ出版		
高齢者の健康と障害					
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）			出版元		
図書名					
使用予定の視聴覚機器					
(パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ					
その他 (DVD)					

科目No. S II 9 科目名(单元名) 老年臨床看護論 I		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 時間数 15時間	担当者 梅木 茂宣	
テーマと授業目標 高齢者の身体的特徴、疾患を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	梅木	高齢者の生活・活動	講義
2	2	梅木	活動・補講・呼吸・循環器	講義
3	2	梅木	呼吸・循環器障害	講義
4	2	梅木	貧血・浮腫・パーキンソン病	講義
5	2	梅木	認知症・うつ・せん妄の臨床	講義
6	2	梅木	認知症・うつ・せん妄の臨床	講義
7	2	梅木	うつ病・せん妄の臨床	講義
8	1	梅木	うつ病・せん妄の臨床	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		終講試験		
科目アピールポイント		高齢者の特徴的な疾患・症状・治療に必要な基礎知識を教育の経験と臨床医としての経験からより具体的に解りやすく学ぶことができる。		
使用図書（テキスト） 図書名：		出版元		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名		出版元		
使用予定の視聴覚機器 （パワーポイント） ・ OHP ・ ビデオ ・ （スライド） ・ CD ・ カセットテープ その他（ ）				

科目No. S II 10 科目名(单元名) 老年臨床看護論Ⅱ		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 26時間	担当者 俵内 晃子	
テーマと授業目標 1.加齢に伴う心身機能の件化や老年期に特徴的な疾患・病態を理解し説明できる 2.高齢者の健康障害について、アセスメント方法や看護技術を理解し高齢者にとって質の高い看護実践を説明できる 3.高齢者が最後まで尊厳を持った、その人らしい生活を支える看護について理解できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	俵内	シラバスの説明 高齢者の食生活を支える看護（前半）	講義
2	2	俵内	高齢者の食生活を支える看護（後半） 排泄を支える看護	講義
3	2	俵内	高齢者の清潔・衣生活を支える看護	講義
4	2	俵内	高齢者の休息と活動を支える看護	講義
5	2	俵内	高齢者の歩行・移動を支える看護	講義
6	2	俵内	高齢者に特徴的な症状・疾患を支える看護	講義
7	2	俵内	高齢者の呼吸・循環機能障害を支える看護	講義
8	2	俵内	高齢者のうつ病・せん妄の看護	講義
9	2	俵内	治療を受ける高齢者の看護 薬物療法・手術療法	講義
10	2	俵内	高齢者の手術後せん妄 高齢者のリハビリ看護	講義
11	2	俵内	治療を受ける高齢者の看護 診察・検査・入院・行動制限	講義
12	2	俵内	終末期看護の実践	講義
13	2	俵内	高齢者看護のまとめ	講義
14				
15				
評価方法		終講試験		
科目アピールポイント		老年期にある人の日常生活の健康問題を総合的に理解し、その人らしく生活するための、必要な基礎知識と看護を展開する技術の実践を、臨床経験と教育経験の豊富な教員からより実践的な指導を受け、学ぶことができる。		
使用図書（テキスト） 図書名：ナーシンググラフィカ 老年看護学① ナーシンググラフィカ 老年看護学②		出版元 メディカ出版		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名		出版元		
使用予定の視聴覚機器 （パワーポイント） ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他（ DVD ）				

科目No. S II 10 科目名(单元名) 老年臨床看護論Ⅱ 認知症のある 患者の看護		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 4時間		担当者 木尾 恭子	
テーマと授業目標 ・認知症の病態・症状を理解し、それに応じた看護がわかる ・実践に活かせるよう認知症高齢者とのコミュニケーションの基本、サポートシステムの理解ができる					
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)		授業方法
1	2	木尾	・ 認知症の病態と要因 ・ 認知症の症状理解とケア		講義
2	2	木尾	・ 認知症高齢者とのコミュニケーションの基本 ・ 認知症高齢者家族への支援とサポートシステム ・ 認知症高齢者の人権と権利擁護		講義
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法		終講試験			
科目アピールポイント		認知機能に問題のある人の日常生活の健康問題を総合的に理解し、その人らしく生活するための、必要な基礎知識と看護を展開する技術の実践を、臨床経験と教育の経験から実践的な指導を受け、学ぶことができる。			
使用図書 (テキスト)		出版元			
図書名：ナーシンググラフィカ 老年看護学①		メディカ出版			
ナーシンググラフィカ 老年看護学②					
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元			
図書名					
使用予定の視聴覚機器					
パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ					
その他 ()					

科目No. S II 11 科目名(単元名) 老年看護実践論		配当時期 2年後期 単位数 1単位 時間数 15時間	担当者 藤原 綾子	
テーマと授業目標 1.高齢者の健康障害について、基礎知識・方法論を用いて包括的なアセスメントができる 2.アセスメントをもとに、看護問題を抽出して、看護過程の展開ができる 3.高齢者の「もてる力」を引き出す生活技能重視の看護について考えられる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	藤原	1. ガイダンス 2. 老年看護における看護過程の特徴	講義
2	2	藤原	病態生理・検査・治療について学習（GW）	講義 グループワーク
3	2	藤原	グループワークの発表 11パターンのアセスメント	講義・演習
4	2	藤原	1. ND発表 2. 目標、計画の立案	講義・演習
5	2	藤原	1. 援助目標、援助計画の立案	講義・演習
6	2	藤原	演習	講義・演習
7	2	藤原	技術試験	試験
8	1	藤原	まとめ	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		終講試験(課題評価点50点 技術試験50点)		
科目アピールポイント		高齢者のペーパーペイシエントの看護過程展開技術の実際に必要な基礎知識と技術を、一般科での豊富な臨床経験からより実践的な指導を受け、学ぶことができる。		
使用図書（テキスト） 図書名：老年看護学概論 老年看護技術			出版元 南江堂 南江堂	
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名：生活機能から見た老年看護過程 根拠と事故防止から見た老年看護技術			出版元 医学書院 医学書院	
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他（ ）				

科目No. S II 1 2 科目名(单元名) 小児看護学総論		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 時間数 30時間		担当者 合田 友美	
テーマと授業目標 1.小児看護の概念を説明できる 2.成長・発達に応じた小児と家族への看護を述べられる 3.健康問題や社会・医療・福祉の現状を学び、小児看護の基本的な考え方を適用できる					
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）		授業方法
1	2	合田	小児看護の特徴		講義・演習
2	2	合田	小児看護の理念		講義・演習
3	2	合田	新生児		講義・演習
4	2	合田	乳児・幼児		講義・演習
5	2	合田	幼児・学童		講義・演習
6	2	合田	思春期・青年期		講義・演習
7	2	合田	家族の特徴取り巻く社会		講義・演習
8	2	合田	小児を取り巻く環境と医療 小児の権利と小児看護		講義・演習
9	2	合田	病気・障がいのある小児とその家族の理解と看護		講義・演習
10	2	合田	入院中の小児と家族の看護 外来における小児と家族の看護		講義・演習
11	2	合田	症状を示す小児の看護		講義・演習
12	2	合田	小児における疾病の経過と看護1 急性期の看護		講義・演習
13	2	合田	小児における疾病の経過と看護1 周手術期の看護		講義・演習
14	2	合田	小児における疾病の経過と看護2 慢性期・終末期の看護		講義・演習
15	2	合田	検査・処置を受ける小児と家族の看護		講義・演習
評価方法		終講試験			
科目アピールポイント		小児各期の特徴を理解し、成長・発達及び健康状態に応じた子どもと家族に対する看護を、小児科での臨床経験と小児看護学の教育としての経験からわかりやすく実践的なアプローチの方法も学ぶことができる。			
使用図書（テキスト） 図書名：系統看護学講座 小児看護学概論 小児臨床看護総論			出版元 医学書院		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名： 授業毎に紹介させていただきます			出版元		
使用予定の視聴覚機器 （パワーポイント） ・ OHP ・ （ビデオ） ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他（ ）					

科目名(単元名) 小児臨床看護論Ⅰ		配当時期 2 年次後期 単位数 1 単位 時間数 30時間	担当者 松元 陽一	
テーマと授業目標 小児の身体的特徴、小児に起こりやすい健康障害とその病態生理・治療・検査を学び、看護過程展開に必要な知識を習得する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	3	松元	先天異常～新生児	講義
2	3	松元	新生児～内分泌	講義
3	3	松元	内分泌～アレルギー	講義
4	3	松元	アレルギー～感染症	講義
5	4	松元	感染症～呼吸器	講義
6	3	松元	循環器	講義
7	4	松元	消化器	講義
8	4	松元	造血～悪性疾患	講義
9	3	松元	腎～神経	講義
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験（100点）		
科目アピールポイント		小児の身体的特徴、小児に起こりやすい健康障害とその病態生理・治療・検査を、臨床医として豊富な経験を活かした指導を受け学ぶことができる。		
使用図書（テキスト） 図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児臨床看護各論 別巻2 臨床外科看護各論			出版元 医学書院	
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他（ ）				

科目No. S II 1 4 科目名(単元名) 小児臨床看護論Ⅱ	配当時期 2 年後期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 30時間	担当者 西田 千夏 池端 朋子 坂口真紀子		
テーマと授業目標 ・小児の代表的な健康障害の経過・症状・治療および看護についての知識を習得し、小児と家族への健康回復・保持・増進のための看護を理解することが出来る ・病気・障害を持つ子供と家族の看護を学ぶ ・各領域疾患において代表的な疾患から、基礎知識や看護を学ぶ ・先天障害を持つ子供の成長・発達に応じた看護を理解する ・疾患を持つ新生児の成長・発達に応じた看護を理解する ・小児に起こりやすい自己、外傷と看護について理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	西田	呼吸器系疾患の小児と家族の看護	講義
2	2	西田	免疫アレルギー系疾患の小児と家族の看護	講義
3	2	西田	ファロー四徴症・川崎病	講義
4	2	西田	腎・泌尿器系疾患の小児と家族の看護	講義
5	2	西田	血液・造血器疾患・悪性新生物の小児と家族の看護	講義
6	2	池端	内分泌疾患 1型DM 低身長	講義
7	2	池端	気管支喘息 感染症 食物アレルギー	講義
8	2	池端	ファロー四徴症・川崎病	講義
9	2	池端	運動器疾患	講義
10	2	池端	神経疾患	講義
11	2	池端	感覚器疾患	講義
12	2	池端	精神疾患	講義
13	2	坂口	先天異常・新生児の主な疾患と看護 ダウン・常染色体・性染色体 DVD	講義
14	2	坂口	疾患を持つ新生児の看護	講義
15	2	坂口	虐待・事故・外傷と看護	講義
評価方法			終講試験	
科目アピールポイント			健康障害が小児と家族に及ぼす影響について発達段階を踏まえて理解できるように、必要な基礎知識と看護を展開する技術の実践を、臨床経験と教育の経験のある教員からもより実践的な指導を受け学ぶことができる。	
使用図書（テキスト） 図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅱ ・小児臨床看護各論			出版元 医学書院	
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名：			出版元	
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ （スライド） ・ CD ・ カセットテープ その他（ DVD 骨盤模型 胎児人形 ）				

科目No. SⅡ15 科目名(单元名) 小児看護学実践論		配当時期 2年後期 単位数 1単位 時間数 15時間	担当者 俵内 晃子	
テーマと授業目標 ・健康障害のある小児の事例を通して、看護展開ができる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	俵内	事例紹介・進め方・情報分類	講義
2	2	俵内	小児の特徴について	講義・演習
3	2	俵内	小児の疾患について	講義・演習
4	2	俵内	日常生活援助について	講義・演習
5	2	俵内	とりまくサポートについて 今後の方向性について	講義・演習
6	2	俵内	看護計画の立案・シミュレーション人形使用のバイタルサイン測定	講義・演習
7	2	俵内	シミュレーション人形使用のバイタルサイン測定実技試験 ・観察・環境	試験
8	1	俵内	シミュレーション人形使用のバイタルサイン測定実技試験 ・観察・環境	試験
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		1.筆記試験(50点) 2.技術試験(50点) 技術試験に関して、技術点の6割を満たすまで技術チェックを受ける		
科目アピールポイント		小児の検査・治療を受けるペーパーペイシエントに必要な基礎知識と基本技術とその実践を、小児看護の臨床経験のある教員が、実践で学んだことを具体的に解りやすく学ぶことができる。		
使用図書（テキスト） 図書名：系統看護学講座		小児看護学概論 小児臨床看護総論 解剖生理学 成人看護学③ 循環器	出版元 医学書院 医学書院	
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他（ ）				

科目No. SⅡ16 科目名(单元名) 母性看護学総論		配当時期 2年後期 単位数 1単位 時間数 30時間		担当者 坂口 真紀子	
テーマと授業目標 ・女性の健康についてライフサイクル「全体の中で考え、女性としての生き方を尊重し支えると共に、健康の保持増進と母性機能を円滑に遂行していくための母性看護の役割・機能について総合的に理解する。また、母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状を理解する					
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）		授業方法
1	2	坂口	母性看護の主な概念と理論 「ミラクルオブラブ」DVD 母性看護の学習の視点 母性とは		講義
2	2	坂口	母性・父性・親性の発達 母子関係と家族発達		講義
3	2	坂口	母性看護の歴史的変遷と現状 母性看護を取り巻く環境・母性看護における安全、事故防止		講義
4	2	坂口	母子保健に関わる法律と施策		講義
5	2	坂口	母子保健統計の動向 母性看護の対象理解		講義
6	2	坂口	妊娠の成立 女性のライフサイクルにおける形態機能の変化		講義
7	2	坂口	母性・父性・親性の発達 前半のまとめ・プリント		講義
8	2	坂口	セクシャリティ・リプロダクティブヘルス/ライツ ウイメンズ・ヘルスプロモーション 倫理問題		講義 グループワーク
9	2	坂口	母性看護における看護過程 ウエルネスについて		講義
10	2	坂口	女性のライフステージ各期における看護 思春期		講義
11	2	坂口	女性のライフステージ各期における看護 成熟期 更年期 老年期		講義
12	2	坂口	リプロダクティブヘルスケア 家族計画 グループワーク		講義 グループワーク
13	2	坂口	リプロダクティブヘルスケア グループワーク		講義 グループワーク
14	2	坂口	グループワーク発表		講義 グループワーク
15	2	坂口	リプロダクティブヘルスケアまとめ まとめプリント		講義
評価方法		終講試験 ただし提出物が出ていない場合は減点になります			
科目アピールポイント		リプロダクティブ・ヘルス/ライツ、ヘルスプロモーションの視点を踏まえ、ライフサイクルにおけるすべての女性への健康支援等について、多くの臨床経験のある助産師の教員から母性看護に必要な基礎的知識・技術について学ぶことができる。			
使用図書（テキスト） 図書名：専門分野Ⅱ 母性看護学（1） 母性看護学概論			出版元 医学書院		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名：専門分野Ⅱ 母性看護学（2） 母性看護学各論			出版元 医学書院		
使用予定の視聴覚機器 （パワーポイント） ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他（ ）					

科目No. S II 1 7 科目名(单元名) 母性臨床看護論 I 妊娠期		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 30時間		担当者 勝田 真理 小窪 幸子 坂口 真紀子	
テーマと授業目標 ・妊娠期の身体的・社会的変化を理解する ・妊娠と胎児の健康状態のアセスメントについて必要な情報を理解する ・分娩の経過に伴う身体変化お飛び心理・社会的変化が理解できる ・産婦の看護についてアセスメントでき、その援助が理解できる ・産婦・新生児の生理的变化を理解する ・産婦のセルフケア能力が維持・増進できる看護援助について理解できる ・産婦・新生児とその家族に対する援助が理解できる					
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）		授業方法
1	2	勝田	妊娠期の身体的特性 ・妊婦体験 ・ミラクルストーリー（DVD） ・赤ちゃんの大きさ・抱っこ体験		講義
2	2	勝田	胎盤計測 胎児の発育とその生理 グループワーク		講義 グループワーク
3	2	勝田	妊娠期の心理・社会的特性		講義
4	2	勝田	演習 レオポルド触診法、腹囲、子宮底、 胎盤計測、バースプラン		講義・演習
5	2	小窪	分娩について（ミラクルストーリー、分娩DVD視聴） 分娩の3要素について		講義
6	2	小窪	回旋・胎盤 分娩開始徴候		講義
7	2	小窪	分娩第1期～第4期の産婦の身体的変化、胎児状態		講義
8	2	小窪	分娩第1期～第4期の看護展開（グループワーク）		講義 グループワーク
9	2	坂口	産褥期の経過と産婦の健康状態アセスメント 進行性変化・退行性変化		講義
10	2	坂口	全身の変化 セルフケアと生活		講義
11	2	坂口	DVD 産褥期の育児支援・母乳育児支援 産婦の心理		講義
12	2	坂口	母乳育児支援・母親への適応過程 父親・家族の心理		講義
13	2	坂口	新生児の整理、DVD 新生児とは、健康状態のアセスメント		講義
14	2	坂口	新生児のアセスメント		講義
15	2	坂口	新生児の看護		講義
評価方法		終講試験			
科目アピールポイント		周産期（妊娠・分娩・産褥・新生児）に焦点を当て、子どもを産み育てる過程を中心に、母子及びその家族に対する援助が理解できるように、臨床経験の豊富な助産師が、実際に体験したことを具体的に学ぶことができる。			
使用図書（テキスト） 図書名：専門分野Ⅱ 母性看護学（2） 母性看護学各論			出版元 医学書院		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）			出版元		
使用予定の視聴覚機器 （パワーポイント） ・ OHP ・ （ ビデオ ） ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他（ ）					

科目名(単元名) 母性臨床看護論Ⅱ		配当時期 2年後期 単位数 1単位(30時間) 時間数 10時間	担当者 中西 健太郎	
テーマと授業目標 妊娠、分娩、産褥、新生児の正常異常を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	中西	ハイリスク妊娠(妊娠期の感染症を中心に)	講義
2	2	中西	ハイリスク妊娠(妊娠高血圧症、感染症の続き、妊娠糖尿病)	講義
3	2	中西	妊娠期間の異常 分娩時の損傷	講義
4	2	中西	胎児付属物の異常 産道の異常	講義
5	2	中西	新生児の異常・不妊症 遺伝相談(カウンセリング)	講義
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(33点/100点)		
科目アピールポイント		周産期(妊娠・分娩・産褥・新生児)に焦点を当て、子どもを産み育てる過程を中心に、母子及びその家族に対する援助が理解できるように、臨床経験の豊富な臨床医が、実際の場面を想起できるような講義で学ぶことができる。		
使用図書(テキスト) 図書名: 専門分野Ⅱ 母性看護学(2) 母性看護学各論			出版元 医学書院	
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 病気が見える 産科			出版元 医学情報科学研究所	
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他(プリント)				

科目名(単元名) 母性臨床看護論Ⅱ		配当時期 2年後期 単位数 1単位(30時間) 時間数 20時間	担当者 坂口 真紀子	
テーマと授業目標 ・母性看護学総論・母性臨床看護論で学習した知識を基礎と死周産期(妊娠・分娩・産褥・新生児)の異常に焦点を当て、母子および家族に必要な看護を学ぶ ・不妊治療を受ける女性の心理・社会的特徴を理解し不妊治療への看護の理解を深める				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	坂口	妊娠期の異常と看護 ハイリスク妊婦の看護、合併症を有する妊婦の看護	講義
2	2	坂口	妊娠期の異常と看護 (切迫流産・妊娠糖尿病・妊娠高血圧・感染症)	講義
3	2	坂口	分娩期の異常と看護 分娩経過の逸脱と看護	講義
4	2	坂口	分娩期の異常と看護 胎児機能不全・分娩時の損傷と看護・プリント	講義
5	2	坂口	分娩期の異常と看護 弛緩出血 帝王切開	講義
6	2	坂口	新生児の異常と看護 新生児仮死 低出生体重児 特有の疾患と看護	講義
7	2	坂口	新生児の異常と看護 高ビリルビン血症児の看護、ビタミンK欠乏性出血症児の看護	講義
8	2	坂口	産褥の異常と看護 産褥熱・復古不全、血栓症を中心に	講義
9	2	坂口	産褥期の異常と看護 乳腺炎・感染症・精神障害 周産期におけるグリーフケア	講義
10	2	坂口	不妊治療を受ける患者の看護 まとめ	講義
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(67点/100点)		
科目アピールポイント		周産期(妊娠・分娩・産褥・新生児)に焦点を当て、子どもを産み育てる過程を中心に、母子及びその家族に対する援助が理解できるように、臨床経験の豊富な助産師が、実践の場面を想起できるような講義で学ぶことができる。		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 専門分野Ⅱ 母性看護学(2)				
母性看護学各論		医学書院		
母性看護技術		メジカルフレンド社		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
病気が見える 第2版 産科		医学情報科学研究所		
使用予定の視聴覚機器				
パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ				
その他()				

科目No. S II 1 9 科目名(単元名) 母性看護実践論	配当時期 2 年後期 単位数 1 単位 時間数 15時間	担当者 坂口 真紀子		
テーマと授業目標				
事例を通して性と生殖に関する健康の保持増進に向けて、対象とその家族への基本的な援助ができる女性のライフサイクルで特に母性機能の活発な時期の女性を、一礼ペーパーシュミレーションにて展開し、母性実習の看護の展開に役立てる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	坂口	看護過程（ウエルネスの考え方） 妊娠期～産褥期、新生児期の情報分析のポイント	講義
2	2	坂口	妊娠期・分娩期の事例展開 グループワーク	講義 グループワーク
3	2	坂口	産褥期・新生児期の事例展開 グループワーク	講義 グループワーク
4	2	坂口	演習（沐浴・更衣・抱き方・調乳）	講義・演習
5	2	坂口	技術（レオポルド触診法、NST 腹囲子宮底長 新生児のバイタルサイン測定）	講義・演習
6	2	坂口	事例全体のまとめと質問・小テスト	講義
7	3	坂口	・沐浴試験（技術試験） ・新生児のバイタルサイン測定	試験
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法	看護過程レポート課題(50点) 技術点数 (50点)			
科目アピールポイント	周産期の対象者のペーパーペイシエントの看護過程の展開に必要な基礎知識と基本技術とその実践を、母性看護の臨床経験のある教員が、実体験したことを具体的に学ぶことができる。			
使用図書（テキスト）	出版元			
図書名：専門分野Ⅱ 母性看護学（2） 母性看護学概論 母性看護学各論 母性看護技術	医学書院 メジカルフレンド社			
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）	出版元			
母性看護学Ⅰ 妊娠・分娩 母性看護学Ⅰ 産褥・新生児 ウエルネスから見た母性看護過程 ウエルネス看護診断に基づく母性看護過程	医歯薬出版株式会社 医歯薬出版株式会社 医学書院 医歯薬出版株式会社			
使用予定の視聴覚機器				
（ パワーポイント ） ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他（ ）				

科目No. S II 20 科目名(单元名) 精神看護学総論		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 時間数 15時間		担当者 深井博文	
テーマと授業目標 1.現代社会における精神保健・看護のニーズの高まりの背景を知る 2.精神科医療の世界的な動向と日本の現状をつかむ 3.精神看護学の基本的な考え方および精神看護を実践する者としての視点や態度を学ぶ 4.精神障害とは何か、その定義やとらえ方を学ぶ 5.人格発達について代表的な理論がわかる 6.精神疾患と障害、その歴史的な流れを理解する					
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)		授業方法
1	2	深井	精神障害とは(ICD10 DSM5) 日本における精神科の起源 イタリア バザーリア法		講義
2	2	深井	オープンダイアログ 精神科アウトリーチ (ACT-K)		講義
3	2	深井	ペプロウの理論(4つの段階 6つの役割) フロイト 精神力動論 局所論 構造論		講義
4	2	深井	フロイト心理学的発達理論・防衛機制 ユング心理学 集合的無意識 転移・逆転移		講義
5	2	深井	エリクソン 発達課題 ハビィガースト 発達課題 ハリースタックサリバン		講義
6	2	深井	ハリースタックサリバン cham ペプロウ プロセスレコード		講義
7	2	深井	プロセスレコード解説 精神保健福祉法の概要		講義
8	2	深井	隔離・拘束についての運用マニュアル 精神保健福祉の今後		講義
9	2				
10	2				
11	2				
12	2				
13	2				
14	2				
15	2				
評価方法		終講試験			
科目アピールポイント		すべてのライフサイクルにある対象者への精神看護の目的と役割・機能について、多くの臨床経験と教育経験から精神看護に必要な知識・技術について学ぶことができる。			
使用図書(テキスト) 図書名: 精神看護学① 精神看護の基礎			出版元 医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名 精神科看護の知識と実際			出版元 メディカ出版		
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・(スライド) ・CD ・カセットテープ その他()					

科目No. S II 2 1 科目名(单元名) 精神保健論	配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 時間数 30時間	担当者 平澤 久一（16時間） 梶川 拓馬（14）時間		
テーマと授業目標 ・精神保健とは、精神の保健に関する学問であり、その精神的健康を維持・向上させる実践活動である。社会的・心理的ストレスにさらされ、不適応状態を起こすことが多い現代社会において精神的問題を学ぶことは不可欠のことである。 現在表れている現象面のみでなく、その背後にある個人の生活史や対人関係また発達課題上の問題から職場、学校、過程、地域などの生活の場を通して精神的危機の実際、災害精神保険活動などを理解し実践できるようにすることが必要である				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	4	梶川	セクシャリティと精神保健 医療現場の人間関係	講義
2	4	梶川	家庭における危機 医療現場における精神的ケアの実際	講義
3	4	梶川	がんと共に生きる人の精神保健 ホスピス 緩和ケア がんサバイバー がんサバイバーを支援する家庭のケア（オンライン授業）	講義
4	2	梶川	災害後の保健活動 看護職と心のケア 災害の及ぼす心理的影響 （オンライン講義）	講義
5	4	平澤	社会病理について・心の構造と機能・精神障害者を理解するための理論について	講義
6	4	平澤	生活の場とクライシス 医療現場における精神危機	講義
7	4	平澤	アディクションと精神保健	講義
8	4	平澤	精神療法について コラージュ療法とその演習	講義・演習
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		終講試験(90) 授業態度(10)		
科目アピールポイント		正常な心の発達と・成熟・老化の推移と心の健康を維持するための援助やストレスや危機状況にある対象者と家族について、多くの臨床経験や大学で携わっている教育と同じように学ぶことができる。		
使用図書（テキスト） 図書名：太田 保之ほか編著 精神保健		出版元 医歯薬出版		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名		出版元		
使用予定の視聴覚機器 （パワーポイント） ・OHP ・ビデオ ・（スライド） ・CD ・カセットテープ その他（ ）				

科目No. S II 2 2 科目名(单元名) 精神臨床看護論		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 30時間		担当者 小牟田 淑子 深井 博文	
テーマと授業目標					
1.精神看護の目的・機能および患者と看護師関係を理解する 2.精神に障害のある対象者の援助と暮らしの拡大と家族の援助について理解する 3.精神疾患と症状から看護介入を理解する					
1.精神看護の目的・機能および患者と看護師関係を理解する 2.精神に障害のある対象者の援助と暮らしの拡大と家族の援助を理解する					
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）		授業方法
1	2	小牟田	精神障害者の理解と看護の基本 ケアの前提・原則・方法		講義
2	2	小牟田	患者看護師関係・プロセスレコードの書き方 ・患者とのかかわりから事故を理解する		講義
3	2	小牟田	対象の場面と医療の場 患者の行動や反応から患者を理解し看護を深める		講義
4	2	小牟田	回復の意味 回復のビジョンやプログラムを知り、援助を見出す		講義
5	2	小牟田	入院治療の目的と意味 患者家族にとって入院の影響・目的を知り、看護を見出す		講義
6	2	小牟田	治療的環境を作る 患者を取り巻く環境より看護介入する		講義
7	2	小牟田	精神科看護の実際 症状から見た看護介入		講義
8	2	小牟田	精神科看護の実際 症状から見た看護介入		講義
9	2	深井	リスクマネジメントについて・行動制限（隔離・拘束）		講義
10	2	深井	自殺・暴力について		講義
11	2	深井	災害時のケア		講義
12	2	深井	精神科における身体のケア		講義
13	2	深井	日常生活から気をつ気をつける合併症		講義
14	2	深井	長期入院患者の地域移行について		講義
15	2	深井	社会資源・サービスについて		講義
評価方法		終講試験			
科目アピールポイント		精神に障がいのある対象者と家族への援助について必要な基本的な知識・技術、特に治療的コミュニケーションが身につくことができるように、精神科の臨床の現場で経験していることを学ぶことができる。			
使用図書（テキスト） 図書名：精神看護学② 精神看護の展開 精神科看護の知識と実際			出版元 医学書院 メディカ出版		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名			出版元		
使用予定の視聴覚機器 （パワーポイント） ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他（ ）					

科目No. S II 2 3 科目名(单元名) 精神看護学総論		配当時期 2 年後期 単位数 1 単位 時間数 1 5 時間	担当者 北山 早苗	
テーマと授業目標 精神障害を持つ人の基本的な看護が理解できる 1.精神に障害のあるペーパーペイシェントの看護過程が展開できる 2.被毒妄想のある模擬患者に与薬ができる 3.5模擬患者に対して実施した看護の振り返りができる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	北山	オリエンテーション 統合失調症の対象の受け止め方 オレムアンダーウッドの理論の真意	講義
2	2	北山	症例 自己で看護過程展開を行う（共同問題）	講義
3	2	北山	症例 自己で看護過程展開を行う（共同問題）	講義
4	2	北山	症例 自己で看護過程展開を行う（看護問題）	講義
5	2	北山	症例 自己で看護過程展開を行う（看護問題）レポート提出	講義
6	2	北山	実習室にて 看護計画のシミュレーション （急性混乱 気分転換活動 非効果的治療計画管理）	演習
7	3	北山	OSCE試験	試験
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		終講試験(レポート提出)50点 OSCE試験50点		
科目アピールポイント		精神に障がいがあるペーパーペイシェントの看護過程の展開に必要な基礎知識と基本技術とその実践を、精神科の臨床経験のある教員が、実践をイメージしやすいようにして学ぶことができる。		
使用図書（テキスト） 図書名：系統看護学講座 専門Ⅱ 精神看護学① 精神看護の基礎			出版元 医学書院	
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名 精神科看護の知識と実際			出版元 メディカ出版	
使用予定の視聴覚機器 （パワーポイント） ・ OHP ・ （ビデオ） ・ （スライド） ・ CD ・ カセットテープ その他（ ）				